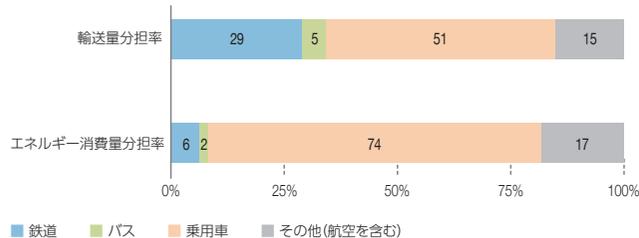


その他

環境

■鉄道の環境優位性

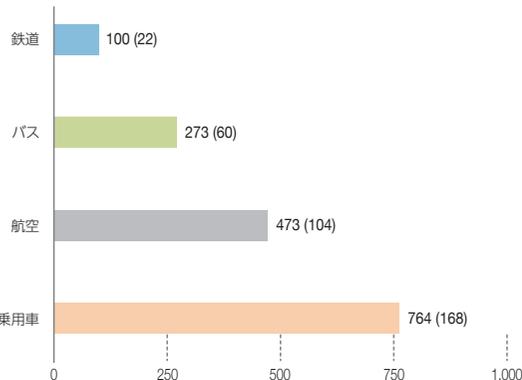
国内旅客輸送機関の輸送量とエネルギー消費量の構成 (2009年度：全国)



資料:国土交通省交通統計室「交通関連統計資料集」GIO「日本の温室効果ガス排出量データ」より量出

単位輸送量当たりのCO₂排出量【旅客】 (2012年度)

鉄道を100とした場合の指数



出典: 国土交通省ホームページをもとに作成
()内の数値は実際のCO₂排出量[g-CO₂/人キロ]

■CO₂排出量削減、省エネルギーに向けた具体的な取り組み

●省エネルギー車両の導入

消費エネルギーの8割以上を占める列車運行エネルギーを低減するために、「VVVFインバータ制御」や、「回生ブレーキ」などの省エネルギー機能を備えた新型車両を導入。

●地上設備の改善

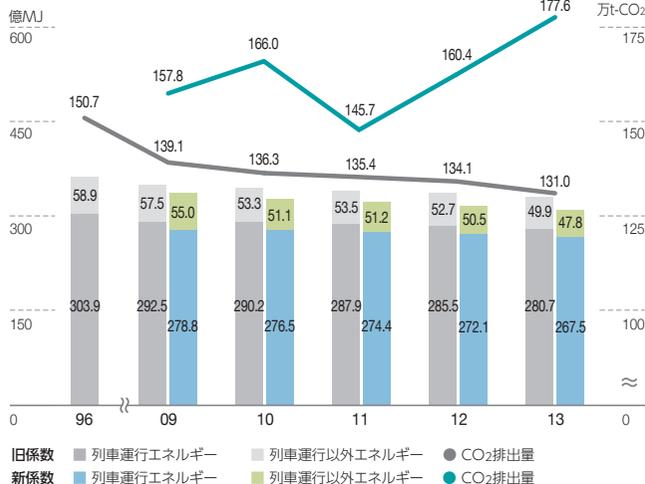
省エネルギー車両の特性をより発揮させるために地上設備を改善。「上下タイキ電方式」や「電力貯蔵装置」など回生ブレーキにより得られた電力を有効に活用できる設備づくりを進めている。

●駅、オフィス等での省エネルギー化

駅、オフィス等で使用するエネルギーは、列車の安全・安定輸送やお客様の利便性向上のために必要不可欠なエネルギーであるが、その削減に向け、使用機器を現在の設備規模に合った高効率なものに取り替えるとともに、新たに導入する機器についても省エネルギー化の配慮を行っている。

事業活動におけるエネルギー使用量とCO₂排出量の実績

各年3月期(3月31日で終了した1年間)

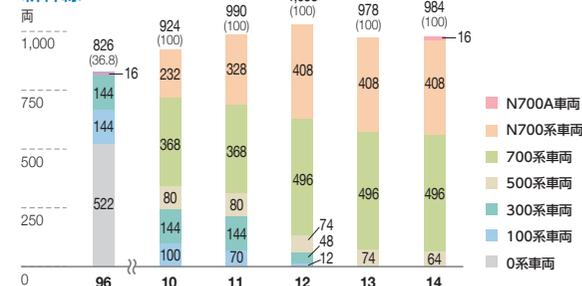


旧係数 ■ 列車運行エネルギー ■ 列車運行以外エネルギー ● CO₂排出量
新係数 ■ 列車運行エネルギー ■ 列車運行以外エネルギー ● CO₂排出量

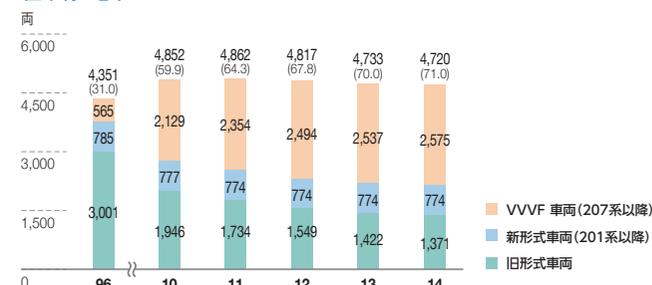
省エネルギー車両導入の推移(営業車)

各年3月期(3月31日で終了した1年間)

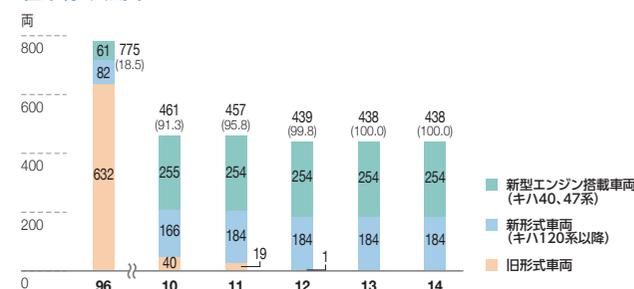
新幹線



在来線・電車



在来線・気動車



(注) ()内の数字は省エネルギー車両の比率を示します。